

大学入学共通テスト（スタナイン）に関する調査結果について

集計時点：5月12日17時時点

【集計期間】令和3年4月6日～4月16日
 【回収校数】856校（98.9%）（国立：82校 公立：104校 私立：670校）

（※パーセント表記は全て回収校数を母数として計算）

I 令和3年度大学入学共通テストの成績提供について（スタナインの活用状況）

1. 令和3年度大学入学者選抜で段階表示による成績の活用状況

合否判定への利用状況

- ・利用した・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0校（ 0%）（A）
- ・利用していない／今後の活用について検討中・・・130校（15.2%）（B）
- ・利用していない／今後も活用する予定なし・・・726校（84.8%）（C）

合否判定以外への利用状況

- ・利用した・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0校（ 0%）（A'）
- ・利用していない／今後の活用について検討中・・・118校（13.8%）（B'）
- ・利用していない／今後も活用する予定なし・・・738校（86.2%）（C'）

2. (B) 及び (B') について、活用予定時期や具体的な利用方法等の検討状況

- 特別選抜において、総得点率に変えて合格基準とできないか検討を行ったが、素点に代えて段階表示を採用する必要性を十分説明できないため断念。
- 今後総合型選抜を導入する際に今後の活用について検討予定。
- 新CSに対応した入試の実施方法を検討する際に段階表示も検討。
- 多面的評価の一環で段階表示が活用できないか今後検討予定。
- 小論文や面接等とあわせて評価し、判定に利用することを検討。
- 学校推薦型選抜で段階表示を活用し、入学後の習熟度を把握するための参考資料（クラス編成など）として活用できないか検討。
- 学科ごとに重視する科目の優先順位を決めて、素点利用と段階評価利用の科目をそれぞれに設定することを検討。

3. (C) 及び (C') について、その理由【複数選択可】

| | 合否判定への利用 (C) | 合否判定以外への利用 (C') |
|-------------------|-----------------|--------------------|
| ①素点の方が合否判定に利用しやすい | 629校（73.5%） | |
| ②具体的な活用方法が想定できない | 354校（41.4%） | 693校（81.0%） |
| ③その他 | 35校（4.1%） | 29校（3.4%） |

（その他の理由）

- 段階表示はテストの識別性能を劣化させるだけなので、メリットがない。段階と段階の差が「1点刻み」で決まるという問題も解消する術がない。
- 段階表示は志願者が少ない本学にはそぐわない。
- 受験者が多いため1点刻みの素点利用が合否判定に必要。
- 学内や世間に段階表示を許容する文化がない。
- 共通テスト以外の選抜で入学する者との比較ができないため、合否判定以外の用途は限定される。